

第4次ひたち男女共同参画計画の令和7年度推進状況について

1 計画の令和7年度取組状況

- (1) 計画に掲げた 64 の具体的な取組は、概ね順調に推進している。
- (2) 一方、企画の再構築により遅れを生じた取組や、事業の利点について更なる周知促進を図る必要があるもの等、部分的な課題が見られる取組もあった。

表-1 取組状況の評価(64 の具体的な取組毎の評価) 詳細 別紙1のとおり

取組状況の評価	件数	構成比
S 計画より進んでいる	2	3.1%
A 概ね計画どおり	61	95.3%
B 計画より遅れている	1	1.6%
C 未着手	0	0.0%
合 計	64	100.0%

表-2 S:計画より進んでいる取組一覧 2 件

基本方針	No.	具体的な取組 / 理由
Ⅱ あらゆる分野における女性の参画拡大	29	<u>職場環境整備に係る事業補助の充実</u> 「日立市人的資本経営支援事業事業補助金」内対象事業の1つとして設定した就業環境整備に関する補助申請が当初予定件数を超過しており、企業の就業環境に関する意識向上が図られたため。
Ⅲ 安全・安心な暮らしの実現	52	<u>生まれた環境に左右されない生活支援・教育支援</u> 地域子ども食堂に関して実施団体及び実施回数の増加により機会の充実が図られたため。また、生活困窮者自立支援事業(学習支援事業)における進学実績が高く、学習支援が充実しているため。

表-3 B:計画より遅れている取組一覧 1件

基本方針	No.	具体的な取組 / 理由
Ⅰ 男女共同参画社会の実現に向けた基盤の整備	9	<u>市政に参画する人材発掘のための大学生人材リストの作成</u> 大学生に限定していた人材リストを若者全般に拡大し、若者世代を包括したリストの作成に向けて内容確認等を行ったが、具体的内容の検討には至らず、新たな人材リストを作成することができなかったため。

表-4 啓発に関する課題が見られた取組 1 件

主な事業は計画通り実施されたが、啓発や周知といった情報提供の面で課題が見られる。

基本方針	No.	具体的な取組 / 理由
I 男女共同参画社会の実現に向けた基盤の整備	1	<u>幅広い世代に向けた分かりやすい広報・啓発活動の充実</u> 事業等への参加者は特定の年齢層に偏る傾向が見られるため、 今後は若年層の参加促進に向けた取組を検討する必要がある。

(3) 基本方針ごとの取組状況(概要)について 別紙2のとおり

2 添付書類

(1) 目標指標一覧 別添のとおり

以 上

第4次ひたち男女共同参画計画 取組状況調査

施策の方向性	取組の柱	具体的な 取組数	R7評価			
			S	A	B	C
基本方針Ⅰ 男女共同参画社会の実現に向けた基盤の整備		17	0	16	1	0
1 男女共同参画の視点に立っ た環境整備	(1)固定的性別役割分担意識の解消に向けた情報発信の充実	2		2		
	(2)育児・介護等の負担軽減のための環境整備	3		3		
	(3)多様性に配慮した公共施設の整備促進	1		1		
【重点項目】 2 教育・メディア等を通じた男 女双方の意識改革、理解の促 進	(1)地域・家庭における男女共同参画の視点の強化	3		2	1	
	(2)人生の選択肢を広げるキャリア教育の充実	2		2		
	(3)いつからでも学び直しができる生涯にわたる学習機会の充実	1		1		
	(4)メディアリテラシーの向上	1		1		
3 男女共同参画に関する国際 的な協調	(1)国際理解の推進	2		2		
	(2)国際的な視野を持つ人材の育成	2		2		
基本方針Ⅱ あらゆる分野における女性の参画拡大		26	1	25	0	0
1 政策・方針決定過程への女 性の参画拡大	(1)女性人材・女性リーダーの育成	2		2		
	(2)女性の政策決定過程への参画を進めるための環境整備	2		2		
【重点項目】 2 雇用等における男女共同参 画の推進と仕事と家庭の調和	(1)ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた個人・事業主双方の意識啓発	3		3		
	(2)女性が活躍するための学習機会及びサポート体制の充実	4		4		
	(3)女性が安心して就業できる環境づくり	2	1	1		
3 地域における男女共同参画 の推進	(1)地域力を高める人材の育成・環境づくり	2		2		
	(2)UIターンへの促進に向けてのサポート体制の充実	3		3		
	(3)情報発信機能の充実及び通信環境の整備	3		3		
4 科学技術・学術における男 女共同参画の推進	(1)理工系分野への女性参画拡大に向けてのサポート体制の充実	3		3		
	(2)学生に対する理工系分野を担う女性人材の育成強化	2		2		
基本方針Ⅲ 安全・安心な暮らしの実現		21	1	20	0	0
1 女性に対するあらゆる暴力 の根絶	(1)DV被害防止のための人権教育・啓発活動の充実	3		3		
	(2)各種相談体制の充実と被害者保護・支援に向けての環境整備	2		2		
【重点項目】 2 貧困等生活上の困難に対す る支援と多様性を尊重する環 境の整備	(1)誰一人取り残さない多様な働き方の実現	3		3		
	(2)子どもへの貧困対策・教育環境の充実	2	1	1		
	(3)性的マイノリティ等の人権に配慮したダイバーシティ社会の実現	2		2		
3 生涯を通じた健康支援	(1)若年層に対する様々な視点からの健康教育の推進	2		2		
	(2)選択肢としての結婚・出産の希望がかなう社会づくり	2		2		
	(3)生涯を通じた女性の健康保持対策の推進	2		2		
4 防災・復興における男女共 同参画の推進	(1)女性防災人材育成の促進	2		2		
	(2)あらゆる人に配慮した防災体制の構築	1		1		
★評価(進捗状況)・・・S:進んでいる、A:概ね計画どおり、B:計画より遅れている、C:未着手		64	2	61	1	0

基本方針Ⅰ

男女共同参画社会の実現
に向けた基盤の整備

施策の方向性

- | | |
|---|-----------------------------------|
| 1 | 男女共同参画の視点に立った環境整備 |
| 2 | 【重点項目】教育・メディア等を通じた男女双方の意識改革、理解の促進 |
| 3 | 男女共同参画に関する国際的な協調 |

【施策の方向性1】

男女共同参画の視点に立った環境整備

男女共同参画をすすめるつどい 2025(参加者 417 人)



○講演会

黒川伊保子さん(㈱感性リサーチ代表取締役)
「対話のトリセツ～心を通わせ、脳を活性化する対話術～」



○インスタグラムでの周知

啓発記事などを掲載 掲載件数:15 件



【施策の方向性 2】

【重点項目】教育・メディア等を通じた男女双方の意識改革、理解の促進



○夏休み作品募集事業

男女共同参画に関する小学生・中学生の作文を募集し、表彰式及び最優秀作文の朗読を行った。
応募作品数：小学生 73 点 中学生 209 点



○職業探検少年団支援事業(キャリア教育)

11 団 団員数 176 人（市 HP より）



○リカレント教育事業

女性の学び直しを支援するため、産学官が連携して企画会議を設置し内容を検討。「リカレント教育連続講座 2025」(全7回×2コース)を開催。(参加者 延べ66人)

【施策の方向性3】

男女共同参画に関する国際的な協調

○多文化共生への理解促進のため、外国人市民とのスポーツ交流会やイベントでの啓発展示を実施。

小中学校へ姉妹都市からの外国語指導助手を派遣し、国際的視野を育む取組も行った。



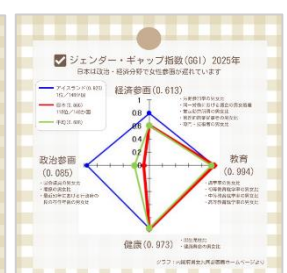
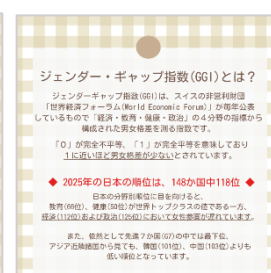
○国際女性デー展示(2/27~3/11)

国際的なジェンダー平等を尊重する記念日である「国際女性デー」に併せ、記念日について広く市民に周知するための展示を行った。



○インスタグラムでの周知

ジェンダーギャップ指数に関する記事を投稿し、国際基準の周知を図った。



基本方針Ⅱ

あらゆる分野における
女性の参画拡大

施策の方向性

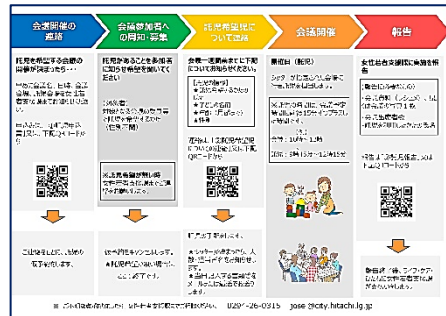
- 1 政策・方針決定過程への女性の参画拡大
- 2 **【重点項目】**雇用等における男女共同参画の推進と仕事と家庭の調和
- 3 地域における男女共同参画の推進
- 4 科学技術・学術における男女共同参画の推進

【施策の方向性1】

政策・方針決定過程への女性の参画拡大



○女性団体等への研修会の充実（14人参加）



○子育て世代の審議会参画促進の取組
子育て世代の方にも政策決定の場に参画していただけるよう、託児サービスの導入支援を実施。



○女性人材リスト活用事業
市政に関心のある女性を対象に人材リストを作成し、審議会委員への推薦により参画を支援。

【施策の方向性2】

【重点項目】雇用等における男女共同参画の推進と仕事と家庭の調和



○女性デジタル人材の育成（16人参加）
リカレント教育連続講座でデータ分析プログラミング講座を開催(全3回)



○雇用センター多賀における就業支援
(利用数 1,251人 うち女性 707人)



○女性の就業専門資格取得等補助金
補助限度額を拡充(10万円→15万円)

【施策の方向性3】

地域における男女共同参画の推進(多様性と共生)



○コミュニティプラン改訂支援
多様で魅力ある地域活動に向け、プランの見直しを進めた。



○若者の場づくり及び拠点施設の検討
ひたち若者ががやき会議で継続実施



○移住コンシェルジュによる情報発信
市の魅力を親しみやすく発信。UIJターンの促進につなげた。(市HPより)

【施策の方向性4】

科学技術・学術における男女共同参画の推進

- 女性の就業専門資格取得等補助金(再掲):理工系の資格を対象に追加
- 企業紹介及び求人PR 動画作成(理工系PR強化)
- ONPO 法人日立理科クラブの人材を活用した小・中学校、義務教育学校における授業支援(希望校)。児童生徒対象の理数アカデミー開催。



○日立版リコチャレロールモデル講座(中学生)

基本方針Ⅲ

安全・安心な暮らしの実現

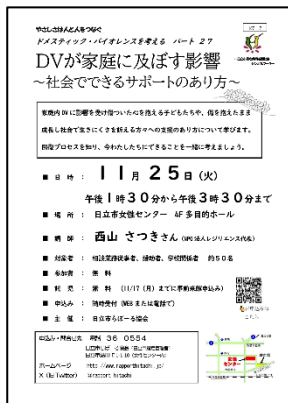
施策の方向性

- 1 女性に対するあらゆる暴力の根絶
- 2 **【重点項目】** 貧困等生活上の困難に対する支援と多様性を尊重する環境の整備
- 3 生涯を通じた健康支援
- 4 防災・復興における男女共同参画の推進

【施策の方向性1】

女性に対するあらゆる暴力の根絶

○STOP! DV キャンペーンを実施
(11月 JR 常陸多賀駅)



主に学生を対象にした啓発を実施

○各種相談事業
女性生活相談、臨床心理士等による「女性カウンセリング相談」「男性 SNS 相談」「性的マイノリティ SNS 相談」を継続実施。



○パープル・ライトアップ事業
DV 防止を呼びかけるため、市内 3 か所で開催。(日立駅・女性センター・日立シビックセンター)

○公開講座を実施 (参加者 48 人)

【施策の方向性2】

【重点項目】 貧困等生活上の困難に対する支援と多様性を尊重する環境の整備

- 雇用センター多賀運営事業
有資格者のもと、関係機関連携の就労相談を実施。
- 生活困窮者自立相談支援事業 相談受付1,436件
- 就学援助制度 認定者数 915 人(小・中学校)
- 地域子ども食堂運営補助事業
実施団体 14 団体(15 か所) 開催回数 476 回



○社会体験活動の充実(野外体験隊事業)
子どもたちの「生きる力」を育むため、社会体験活動を提供する事業への活動補助を実施。(参加者 31 人)

【施策の方向性3】

生涯を通じた健康支援

- いのちの教育(小学校) 市内 24 校
参加者 1,832 人(保護者含む)
- いのちの教育(中学校) 市内 15 校
参加者 1,230 人
- ライフプラン教育(高校) 市内 10 校 11 回
参加者 1,695 人
- 不妊治療費助成事業 助成件数 延べ 164 件
- ラジオ体操コンクール 参加者 1,102 人(44 団体)
「夏休み! チャレンジ・ラジオ体操!!」
参加者 602 人



○各種キャンペーンの実施
薬物乱用防止啓発活動 3回
喫煙防止啓発活動 1回



【健康づくり推進課公式 Instagram より】
○オンラインを活用した保健指導・情報発信事業
SNS を活用した情報発信 21 件
母子個別面談 6 件

【施策の方向性4】

防災・復興における男女共同参画の推進

- コミュニティにおける自主防災組織に占める女性の割合を調査し、情報を共有。「新たな人材発掘会議」の提案に基づく女性事務局長会議を設置。
- 日立市防災士養成講座の実施 合格率 88%
受講者 79 人(うち女性 33 人) 合格者 70 人(うち女性 30 人)



市の公式 YouTube でも PR を行った

計画の目標指標一覧

※ 令和8年度までに達成する目標値

基本方針／施策の方向性／項目			実績値 (R2年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	目標値 (R8年度)
基本方針Ⅰ	1	固定的性別役割分担意識を持たない市民の割合	男50.9% 女60.0%	-	-	-	男58.3% 女67.5%		男60% 女70%
		保育や介護が充実していると思っている市民の割合	男24.6% 女30.9%	-	-	-	男28.1% 女33.3%		男34% 女40%
	2	家庭生活において男女の地位が平等と感じる人の割合	男38.8% 女23.5%	-	-	-	男42.0% 女21.6%		男50% 女50%
		大学生人材リストの登録者数	-	9人	0人	0人	0人		30人
		広報媒体を活用した女性ロールモデルの活動紹介数	-	調査検討	2回／年	3回／年	3回／年		5回／年
	3	国際交流事業の参加者数	4,211人 ^(R元) 938人	4,138人	3,489人	3,164人	2518人		4,400人
基本方針Ⅱ	1	審議会等に占める女性委員の割合	28.2%	26.4%	27.3%	26.4%	26.3%		40%
		女性人材リスト登録者数	32人	30人	25人	26人	28人		40人
	2	就業専門資格取得等補助を受けて就業した女性の人数	12人	5人	4人	9人	10人		15人
		女性の就業支援講座を受講した人の数	67人	176人	137人	105人	79人		100人
		離職理由について「仕事と家庭の両立が難しい」と答えた女性の割合	11.0%	-	-	-	7.40%		10%
	3	3年間に地域活動に不参加だった理由が「きっかけがない」と思っている50歳未満の人の割合	男54.9% 女46.0%	-	-	-	男43.0% 女38.0%		男45% 女36%
		街なかマイクロクリエイションオフィスからの創業者数	5件／年	1件／年	4件／年	9件／年	10件／年		5件／年
	4	学生に対する理工系分野に係るロールモデル講座の実施数	-	調査検討	1回／年	1回／年	1回／年		1回／年
基本方針Ⅲ	1	若年層に向けた人権啓発講座等の実施数	4校	18校	24校	26校	29校		25校
		DV相談窓口の認知度	男33.5% 女43.3%	-	-	-	男49.6% 女49.2%		男45% 女51%
	2	地域子ども食堂実施箇所数	8か所	9か所	11か所	13か所	15か所		13か所
		地域わんぱく隊体験事業参加者数	611人 ^(R元) 298人	896人	571人	616人	-		600人
		性的マイノリティを理解する講座参加者数	43人	21人	45人	22人	-		60人
	3	子宮頸がん検診・乳がん検診受診数	子宮2,437人 乳3,600人	子宮3,455人 乳5,446人	子宮3,478人 乳5,545人	子宮3,622人 乳5,606人	子宮3,513人 乳5,533人		子宮4,400人 乳7,000人
	4	地域における自主防災組織に関わる女性の割合	24.9% (R3)	25.3%	25.4%	24.9%	25.9%		40%